

令和6年度 (国語) シラバス

教 科	国語	科 目	古典探究		
単 位 数	4	学 年	2	類 型	文系
教 科 書	古典探究 (数研出版)		副教材	体系古典文法 (数研出版) 等	
学習目標	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識・技能を身に付け、我が国の伝統的な言語文化への理解を深め、先人のものの見方、感じ方等の関わりの中で伝え合う力や自己の考えの深化を図ることができるようにする。				

授業計画

	学習内容	学習のねらい
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・説話 ・故事 ・歌物語 ・故事 ・漢詩 	<ul style="list-style-type: none"> ・文語や訓読の決まりについて理解を深めるようにする。 ・作品の成立した背景や他の作品との関連性をふまえて文章を読み、和歌と本歌の類似点等にも着目し、内容の理解を深め作品価値について考察することができるようにする。 ・古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解できるようにする。
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・随筆 (一) ・史伝 ・歴史物語 ・史伝 ・随筆 (二) ・和歌・歌謡・俳諧 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類をふまえ古典特有の表現に注意して内容を的確にとらえることができるようにする。 ・登場人物の心情、経緯や行動の理由について粘り強く考察し自分の考えを説明し、主体性をもって話し合いに参加できるようにする。 ・本文に描かれる世界観など現代にも通じる価値があることについて考えることができるようにする。
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・思想 ・物語 ・和歌・歌謡・俳諧 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章に表れるものの見方、考え方をふまえ人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ・内容や解釈を自分の知見と結びつけ考えを広げたり深めたりした上で登場人物の人物像に迫ることができるようにする。

評価の観点及び内容、評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
知識・技能	古典を読むために必要な文語のきまりや訓読の決まりについて理解を深めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・確認テスト
思考・判断・表現	「読むこと」において、書き手の考えや目的、意図をとらえ解釈し文章構成や展開、表現の特色、作品の内容等について考察できている。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・確認テスト ・発表内容等
主体的に学習に取り組む態度	粘り強く学習課題に沿って話し合いをしたり、自分の考えを発表したり、話し合うことができている。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に取り組む態度 ・授業における発言 ・ノートや課題等における記述 ・自己評価